



平和首長会議ニュース

2019年1月 / 第109号

平和首長会議加盟都市数
163 か国・地域 7,701 自治体
日本国内加盟自治体数：1,732
(2019年1月1日現在)

平和首長会議の最新ニュースはこちらでチェック！

◆ウェブサイト:

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/index.html>

◆フェイスブック:

<https://www.facebook.com/mayorsforpeace>

「いいね！」をお待ちしています。

<<今号の内容>>

- ◆子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテストについて ~ご応募ありがとうございました~
- ◆平和を希求する心を育てる取組の好事例を募集しています
- ◆平成30年度青少年「平和と交流」支援事業(HIROSHIMA and PEACE)の実施結果について
- ◆平和首長会議事務局がボルゴグラード市(ロシア)からインターンを受け入れました
- ◆オバマ財団主催「アジア太平洋地域リーダーズデザインワークショップ」に平和首長会議スタッフが出席しました
- ◆ヒロシマ発平和関連ニュース(中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事)
- ◆平和首長会議行動計画(2017年-2020年)に掲げる取組の実施にご協力ください
- ◆被爆樹木二世の苗木の配付事業のご案内
- ◆「ヒバクシャ国際署名」への平和首長会議の賛同・協力について
- ◆2018年12月の平和首長会議会長訪問
- ◆平和首長会議加盟自治体数: 163 か国・地域 7,701 自治体

■子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテストについて ~ご応募ありがとうございました~

平和首長会議では、加盟都市における平和教育のさらなる充実を目指して、全加盟都市の子どもたちを対象とした“平和なまち”絵画コンテストを実施しました。2018年10月1日から12月28日まで作品を募集したところ、世界14か国29都市から469作品が寄せられました。たくさんのご応募、誠にありがとうございました。

いずれも力作揃いで、選考にあたった審査員は悩みながらも苦渋の決断をして、受賞作品8点を決定しました。受賞作品は平和首長会議ウェブサイトでご覧いただけます。なお、最優秀作品は平和首長会議のPRグッズ(クリアファイル)のデザインとして採用される予定です。



最優秀賞を受賞したロシア・クラスノダール市
アナスタシア・スコベルツィナさん(9歳)の作品

▼子どもたちによる“平和なまち”絵画コンテスト 受賞作品(平和首長会議ウェブサイト):

http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/effort/2018_Poster_Exhibition_result.html

=====

■平和を希求する心を育てる取組の好事例を募集しています

=====

平和首長会議事務局では、自治体、学校、NGO等、様々な実施主体による平和教育の取組事例を「平和首長会議ニュース」やウェブサイトで紹介することにより、そうした活動の広がりを促進していくため、各加盟都市において実施されている平和を希求する心を育てる取組の好事例を募集しています。

第一次提出期限(※注)の2018年11月末までに国内外の41自治体から57事例が寄せられました。事例をご提供いただいた自治体の皆様、誠にありがとうございました。

お寄せいただいた取組事例は随時ウェブサイトでご紹介する予定です。他都市の事例を参考にして、より多くの都市に平和教育の取組を広げていただければ幸いです。

※事例募集は引き続き行っておりますので、随時情報提供をお願いいたします。

▼平和を希求する心を育てる取組の好事例募集について(平和首長会議ウェブサイト):

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/effort.html#section10>

▼書類提出・問い合わせ先:

Email: kokunai-mfp@pcf.city.hiroshima.jp

=====

■平成30年度青少年「平和と交流」支援事業(HIROSHIMA and PEACE)の実施結果について

=====

平和首長会議では、次代の平和活動を担う青少年の育成のための取組として、広島で被爆者の体験や平和への思いなどを学び、交流を行うプログラムに、加盟自治体の青少年を招へいする事業を実施しています。

この事業の一環として、2018年8月1日～10日、広島市立大学が実施した夏期集中講座「HIROSHIMA and PEACE」に、平和首長会議加盟自治体の青少年9名を招へいし、広島市立大学のプログラムに加え、平和首長会議の概要説明や意見交換会等、平和首長会議の独自プログラムを実施しました。事業報告と参加者のレポートを平和首長会議ウェブサイトで公開しましたので、ご覧ください。

▼事業報告及び参加者のレポート(平和首長会議ウェブサイト):

http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/effort/2018_HAP_result.html

本事業は平成31年度も実施予定であり、2月中旬に参加者の募集を開始する予定です。

=====

■平和首長会議事務局がボルゴグラード市(ロシア)からインターンを受け入れました

[2018年12月3日～19日]

=====

平和首長会議では、2014年度から海外加盟都市から若手職員等をインターンとして広島に招へいし、インターンシップを実施しています。2018年12月3日～19日まで、平和首長会議の副会長都市であり、ロシアにおけるリーダー都市でもあるボルゴグラード市から、ボルゴグラード州立大学で准教授を務めるエレナ・マルシュコさんをインターンとして受け入れました。マルシュコさんは平和首長会議事務局の業務に携わるとともに、平和記念資料館の見学や被爆体験講話の聴講等を通じて被爆の実相について理解を深めました。また、広島市内の小学校を訪問し、ロシアの文化、ボルゴグラード市の平和の取組について発表しました。

マルシュコさんは今回のインターンシップについて「広島とボルゴグラードは第二次世界大戦中に街を破壊され、多くの人命が失われたという共通点を持っています。原爆投下については多くのことを知っているつもりでしたが、実際に広島を訪れて経験することは知識とは別物であることを実感しました。今回学んだことを、私の学生たちに伝えていきたいと思います。また、ボルゴグラード市と平和首長会議をつなぐお手伝いもしていきたいと思います。」と決意を述べています。

▼ボルゴグラード市からのインターンの活動について(平和首長会議フェイスブック):

https://www.facebook.com/mayorsforpeace/posts/2040032359590820?_tn=-R

https://www.facebook.com/mayorsforpeace/posts/2044738019120254?_tn=-R

https://www.facebook.com/mayorsforpeace/posts/2048602018733854?_tn=-R

平和首長会議事務局では、1月中旬からモントリオール市(カナダ)からのインターンを受け入れる予定です。

=====
■オバマ財団主催「アジア太平洋地域リーダーズデザインワークショップ」に平和首長会議スタッフが出席しました

[2019年1月4日～6日]

=====
1月4日から6日までの3日間、米国ハワイ州ホノルル市で開催された「アジア太平洋地域リーダーズデザインワークショップ」に、平和首長会議の広島事務局スタッフが参加しました。

このワークショップは、インドネシアやマーシャル諸島など16か国・地域のアジア太平洋地域の若いリーダー21人を対象にオバマ財団が実施したもので、若いリーダーとしてのモチベーションを高めるとともに、人的ネットワークを構築することを目的として開催されました。教育やITなど多様な分野で活躍している参加メンバーは、それぞれの活動を拡充させるためのスキルなどについてグループディスカッションを行うとともに、今後アジア太平洋地域においてリーダーシップを発揮していくために必要なアイデアを出し合い、オバマ前米国大統領の前でグループ毎に発表し、意見交換を行いました。

参加したスタッフは、アジア太平洋地域の若いリーダーと意見交換を行うとともに、平和首長会議の取組について紹介し、今後の活動に対する理解と協力を求めました。

=====
■ヒロシマ発平和関連ニュース（連載第51回）

[中国新聞社ヒロシマ平和メディアセンター提供記事]

=====
昨年末、被爆地にとって大きなニュースが、バチカン発で報じられました。ローマ法王フランシスコが2019年中に日本を訪れ、被爆地の広島と長崎に足を運ぶ意向を示したのです。早ければ11月後半の来日が想定されています。ローマ法王が被爆地を訪れるとすれば、1981年2月の故ヨハネ・パウロ2世以来。広島市長や広島県知事が法王の訪問を呼び掛けてきただけに、被爆者の間でも期待が高まっています。

1981年の2月25日、雪が舞う広島の平和記念公園でヨハネ・パウロ2世は「戦争は人間のしわざです」で始まる歴史的な平和アピールを読み上げました。当時は米国とソ連の冷戦が続き、世界は核戦争の脅威に直面していました。その中で法王のメッセージは全世界に響き渡り、核軍縮に向けた世論の高まりにつながりました。

新年を迎えた今の世界はどうでしょう。かつての冷戦時代の終わりの象徴でもあった米ソの中距離核戦力（INF）廃棄条約からの離脱を昨年、米国のトランプ大統領が表明しました。ロシアも米国に対抗して新型の核兵器開発計画を打ち出しました。非核化に向けて動きだした北朝鮮情勢は不透明なまま年を越しました。ことしで制定3年目を迎える核兵器禁止条約は発効が少しずつ近づいていますが、核保有国を巻き込む見通しは立っていません。

バチカンは核兵器禁止条約をいち早く批准した国です。法王フランシスコによる被爆地発のメッセージが実現すれば、大国の対立がエスカレートして「新冷戦」とも呼ばれる世界への強い警鐘になることでしょう。

関連記事は次のアドレスで読めます

○核廃絶へ正念場の1年 平和首長会議 迫る目標の2020年

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=88909>

○社説 核兵器廃絶への道 広島からうねり今こそ

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=88901>

○「核廃絶の後押しに」ローマ法王広島訪問意向 被爆者ら歓迎

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=88658>

○社説 ローマ法王被爆地へ 核兵器廃絶の追い風に

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=88651>

○ヨハネ・パウロ2世 広島「平和アピール」全文（1981年）

<http://www.hiroshimapeacemedia.jp/?p=83587>

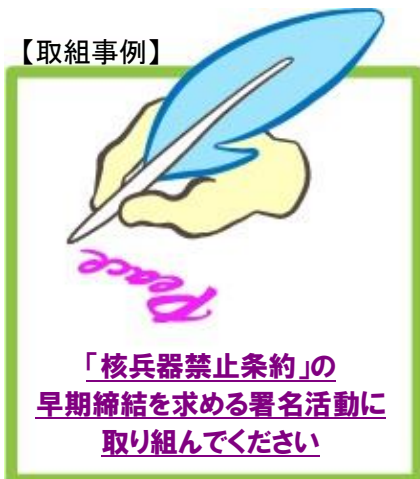
=====
■平和首長会議行動計画(2017年-2020年)に掲げる取組の実施にご協力ください

=====
2017年8月に長崎市で開催された第9回平和首長会議総会において、「平和首長会議行動計画(2017年-2020年)」が策定されました。この行動計画に掲げられた、世界恒久平和の実現に向けた国際世論を醸成・拡大するための取組の推進にご協力ください。

▼「平和首長会議行動計画(2017年-2020年)」(平和首長会議ウェブサイト):

http://www.mayorsforpeace.org/jp/report/meeting/data/9th_meeting/Action_Plan_2017-2020_J.pdf

【取組事例】



=====
■被爆樹木二世の苗木の配付事業のご案内
=====

平和首長会議では、第9回総会において策定された行動計画に沿った取組として、被爆樹木二世の苗木の配付を行っています。小・中学校の平和学習での活用や公共施設の改修にあわせた記念植樹など、平和のシンボルである被爆樹木二世の育成を通じて、市民の平和意識の醸成に取り組んでいただきますよう、ご検討をお願いします。

被爆樹木二世の苗木の配付を希望される場合、所定の申請書をEメール又はFAXにて事務局までお送りください。

※現在被爆クスノキ二世の苗木の在庫が不足しているため、当分の間アオガリの苗木のみの配付となります。

※この事業は、通年でやっているため特に申請期限はありません。また、来年度以降も継続して実施しますので、来年度以降の苗木の受け入れについても、是非ご検討いただければ幸いです。



▼Email: kokunai-mfp@pcf.city.hiroshima.jp

▼FAX: 082-242-7452

▼被爆樹木二世の苗木の配付申請書、事業紹介パンフレット印刷用データ等のダウンロード(平和首長会議ウェブサイト):

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/ecbn/effort.html#section04>

=====
■「ヒバクシャ国際署名」への平和首長会議の賛同・協力について
=====

平和首長会議では、第9回総会において策定された行動計画に基づき、「幅広い層の市民の平和意識の啓発」を目的として『ヒバクシャ国際署名』と連携した『核兵器禁止条約』の早期締結を求める署名活動を展開しています。

平和首長会議に寄せられた『核兵器禁止条約』の早期締結を求める署名と、「ヒバクシャ国際署名」で集められた署名を共に国連関係者に提出することとしています。

▼ヒバクシャ国際署名ウェブサイト:



=====
■2018年12月の平和首長会議会長訪問
=====

松井一實広島市長・平和首長会議会長は、先月次のような海外からの来訪者をお迎えしました。その際に平和首長会議の取組及び加盟要請への協力をお願いしました。

- * 12月1日(土) ハサン・ムラット・メルジャン 駐日トルコ共和国特命全権大使
- * 12月3日(月) ヴァシレ・ブマコフ 駐日モルドバ共和国特命全権大使
- * 12月3日(月) ヘラルド・エルナンデス・ノルデロ キューバ人民権力全国議会(国会)議員
- * 12月4日(火) イアン・バーニー 駐日カナダ特命全権大使

=====
■平和首長会議加盟自治体数: 163 か国・地域 7,701 自治体
=====

1月1日付で、13自治体が加盟し、加盟自治体数は7,701(163か国・地域)となりました。加盟促進に関する皆様のご協力に心から感謝申し上げます。

今月、イタリアからヴァレーゼ市とチェッジャ市が加盟しました。このうち、ヴァレーゼ市については、2015年に同市にキャンパスを持つインスブリア大学の教授が広島市を訪問された際、松井会長が加盟拡大に係る協力を要請したところ、同教授の呼び掛けにより今回の加盟が実現しました。カナダからは、現地NGO団体の呼び掛けによりジャスパー市が加盟しました。また、副会長都市及びリーダー都市であるハノーバー市の呼び掛けにより、9自治体が加盟しました。この他、フランスからコワーズ・サン・ジャン・ピエ・ゴージェ市が加盟しました。

引き続き未加盟の近隣自治体や姉妹都市への働き掛けなど、皆様のご協力をよろしくお願いします。

▼1月1日付新規加盟自治体一覧(PDF)

http://www.mayorsforpeace.org/data/pdf/03_newmembers/2019/newmembers1901_jp.pdf

▼加盟自治体マップ

<http://www.mayorsforpeace.org/jp/membercity/map.html>

本メールニュースに関するご意見、お問合せ等は下記までご連絡ください

平和首長会議事務局

〒730-0811 広島市中区中島町1-5

(公財)広島平和文化センター 国際部 平和連帯推進課

TEL: 082-242-7821 FAX: 082-242-7452

▼Email: mayorcon@pcf.city.hiroshima.jp